

例会報告：2015年10月27日（晴れ） 第1909回 通常例会

❖ 会員誕生日

一寸木 芳行さん（10月27日）
守屋 善男さん（10月30日）

❖ 結婚記念日

本多 純二さん（11月4日）
守屋 善男さん（11月5日）
安藤 克己さん（11月8日）

❖ 奥様誕生日

杉本 眞佐枝さん（11月8日）

❖ ニコニコ箱

櫻井 康二 委員長

	ニコニコ箱	累計	目標
10月27日分	17,000	346,535	1,300,000

＊卓話者

小野 良太郎様（米山奨学・学友委員長、秦野RC）

＊会員誕生日

守屋 善男さん…①誕生日のお祝い（71歳）ありがとうございます。②結婚記念日のお祝い（47回目）ありがとうございます。

＊結婚記念日

本多 純二さん…結婚記念日のお祝いありがとうございます。明日家内がブルガリアから帰国します。無事で良さそうです。

＊その他

河野 秀雄さん…米山奨学・学友委員長小野良太郎様、本日はよろしくお祈りいたします。

中村 維孝さん…かねてから準備してました化粧品の会社が10月1日スタートすることができました。東京オリンピックの年には年商100億位にしたいと思えます。

杉崎 勝成さん…小野米山奨学・米山学友委員長ようこそ我クラブに来訪くださり有難う御座います。又、米山の意義、現状等、卓話も宜しくお祈りいたします。

大谷 宏さん…地区の米山委員長の小野良太郎様、本日はご多用のところ、私たちの小田原城北ロータリークラブにようこそお出で下さいました。本日はよろしくお祈りいたします。

■ ■ 今後のメークアップ情報 ■ ■

-2015年11月-

- ▶11日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話：ニューリーダーフォーラム 榎原 皓様/東北大地震 被災者仮設住宅に歌声を・・・現在の被災地の状況について・・・」
- ▶12日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
「卓話：富士フィルム(株) 統括マネージャー 中村 善貞様/未病から健康へ(仮)」
- ▶13日(金) 湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30
「卓話：会員による卓話」
- ▶13日(金) 足柄 夜間移動例会 大井町やぶね 18:30
- ▶16日(月) 小田原 報徳会館 12:30
「卓話：新会員自己紹介・職業紹介」
- ▶17日(火) 箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12:30
「会員による卓話」
- ▶18日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話：私にとっての小田原北RC/柴崎会員・前川会員・権藤会員」
- ▶19日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
「卓話：会員10分間スピーチ/鈴木会員・竹石会員・田中裕子会員」
- ▶20日(金) 湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30
「卓話：会員による卓話」
- ▶20日(金) 足柄 おんりーゆー 12:30
「卓話：地区Rの友委員長様(予定)」
- ▶23日(月) 小田原 休会
- ▶24日(火) 箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12:30
「会員による卓話」
- ▶25日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話：アールドヴィーヴル萩原代表・アートディレクター中津川様/50周年関連」
- ▶19日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
「卓話：会員10分間スピーチ/鈴木会員・竹石会員・田中裕子会員」

【小田原城北ロータリー・クラブ】
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
URL：http://www.odawarajhrc.jp
Mail：info@odawarajhrc.jp
例会場：小田原卸センター内会議室
創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
例会：毎週火曜日 12:30～13:30
クラブ会報委員会
監修：柳井 渉
編集長：小林 和彦
コピーライター：大川 誠
デザイン：小林 和彦
フィールド：大川 久弥・杉本 博愛

会員数：46名



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
ODAWARA JOHOKU R.C.
2015-2016
WEEKLY BULLETIN



世界へのプレゼントになろう

【R.I. 会長】
K. R. ラビンドラン
【R.I. 2780地区ガバナー】
田中 賢三
【第9グループガバナー補佐】
石崎 孝



【会長】木村 頼弘
【副会長】久保田 知子
【幹事】柳井 渉
【副幹事】須藤 公司
【会場監督】西 寛

世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

本日の例会：通常例会（第1910回）

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2015年11月10日 12：30～13：30
司会：須藤 公司 副幹事

12：30	開会点鐘：木村 頼弘 会長 国歌斉唱 ロータリーソング斉唱 「奉仕の理想」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱 閉会点鐘：木村 頼弘 会長
13：00	クラブフォーラム 卓話：地区R財団 資金推進委員長 田所 啓二 様（相模原大野RC）

■雑誌広報11月号報告

雑誌広報委員会 杉崎勝成 委員

ご承知のように11月はロータリー財団月間ですが「ロータリーの友」も横書きのページで特集しています。

1917年アーチC.クランプRI会長の提案によりロータリー財団の前進である「ロータリー基金」がアトランタ国際大会で採択され、1928年にはRIから独立して「ロータリー財団」となり別機関となりました。現在、財団の補助金は一昨年度から新たな補助金制度となり規模の小さい短期的な活動支援の「地区補助金」と、石崎AG訪問の時に説明がありましたがロータリーの特別月間にも新たに「6つの重点分野」に関連した持続可能で国際的な活動を支援する「グローバル補助金」の2種に集約され、昨年度で「パッケージ・grant」は終了しました。補助金の使われ方を知ると毎年の寄付に対する概念も変わるかも知れないですね。

さて、横書き8ページからの記事を見ると、どちらの補助金を使用したかが水色で書かれていますが、内容からプロジェクトの進め方も色々勉強になります。

楽しさと感動を呼ぶ一年にしよう

【今後の例会・卓話スケジュール】

11月17日（火）通常例会 12:30

担当：金山会員
卓話：日本体育協会上級スポーツ指導員
神奈川県エアロビック連盟 理事
川口喜代美 様
「背中を意識して！！」

11月24日（火）通常例会 12:30

卓話：杉崎40周年実行委員長
「40周年について」

12月1日（火）通常例会 12:30

「クラブ協議会（年次総会）」

12月8日（火）通常例会 12:30

担当：鈴木会員
卓話：みずほ証券(株) 経営調査部 投資教育推進室
室長 浜崎祐一郎 様

12月15日（火）忘年家族会（夜間）

40周年実行委員会でも地区補助金の再募集があったため社会奉仕委員会と組み申請を検討しています。

12ページからの記事「ポリオ撲滅」もロータリー財団のプログラムの一つです。我々もその用途のため年間40ドルの寄付を行っていますが、来年の1月21日(木)のIM開催日の午前中に箱根RCが主管となり第9グループとして関連した事業を計画中のようです。

30・31ページには以前卓話でも取り上げた「My Rotary」の登録方法が書かれていますので未登録の会員の方は挑戦をして見てください。

38ページにはRI指定記事として「今月がロータリー財団月間である理由」が書かれています。志澤財団委員長はじめロータリー財団推進委員会が活躍する月間でもあります。

最後に雑誌広報担当として縦書き「友愛の広場」15(横62)・16ページに興味ある記事を見つけました！「20円で出来るロータリーの広報」(香川県で丸亀RC)にロータリーの切手を作成した投稿です。これをヒントに新たなアイデアが湧いてきそうですが、皆さんはどう思われますでしょうか？



RAC
会員募集中

相応しい会員をご紹介ください！

例会報告：2015年10月27日（晴れ） 第1909回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2015年10月27日 12：30～13：30

❖ 会長挨拶



先週のガバナーに公式訪問、皆様のお蔭をもって無事に終わる事が出来ました。そして先日の地区大会、多くのご参加を頂きました、本当にご苦労さまでした。田中Gからも地区大会参加のお礼状が届いておりました。また、私からもこの場をお借りして、お礼申し上げます。ありがとうございました。

ところで。今日は8月号のロータリーの友に載っております「女性会員」についてお話しします。ご覧になったと思いますが、世界のRの女性会員の割合が載っております。世界の主だった国が25ヶ国が載っております。女性会員が最も多い国はインドネシアの43.8%で、なんでこんなに多いのか驚きですが、最も少ない国が日本で5.3%でした。世界の平均が約20%ですから、日本がいかに女性会員が少ないかわかります。そこでロータリーにおける女性会員に関する歴史を調べてみました。1905年RCが誕生してから、1987年の約80年以上ロータリーには女性会員はおりませんでした。その間も、女性の地位が向上し、クラブに女性会員を入会させようと声も高まりましたが、RI=国際ロータリーが全て否定をしてきました。そしてようやく、1987年にアメリカの連邦最高裁判所がRCに「性別を理由に女性会員を拒否する事は出来ない」という判決を下しました。2年後の1989年判決を受けて初めてのRIの規定審議会において定款から「ロータリーの会員は男性に限られる」という項目が削除されました。これによってロータリーにおいて女性会員が認められたという経緯があります。そして現在は、会員減少という状況もあって、女性会員の確保に力を注いだ事によって世界に増えてきた1つの理由と考えられます。

当クラブにも幸いにして2人の女性会員がおります。お一人は、私のいつも横におります、久保田知子さんです。思った事を率直に遠慮なく言って頂ける、とても頼もしく、そして優しい知子さんです。もうお一人は、まだ入会間もない、仲徳子さん。いつも笑顔で、クラブの雰囲気をとっても明るくしてくれる素敵な女性です。そして、会員ではありませんが、クラブにとってなくてはならない事務局の諸星ひとみさんです。いつも、細かい所まで気を配って頂いて、私もどれだけ助けられているか、クラブにとってまるでアイドル的な存在だと思っています。この3名の女性がいるだけで、クラブの雰囲気は全然違うと思います。男性だけなら、まるでお通夜みたい例会が、女性がいる事で、とても例会場が明るく和みます。女性の強みは『女性の視点と価値観を生かして、女性ならではの発想』を持っている事です。男性は理論的に物事を考えますが、女性は直感的に考えます。特に女性は、その直感力による「気づく力」が特別に進化していると言われております。男性には気付かない事も、女性は見た瞬間にひらめくように気が付くそうです。

さらに女性は、他者の悩みに共感する力や、逆境を糧(かて)にする柔軟さを持ち合わせています。一番凄いのが、犠牲的精神という神聖な特質を持っているという事です。この様に、女性には女性の素晴らしい所が沢山あります。女性会員が増えればお互いに支え合い、意識を高める事もクラブの活性化につながると思います。また、女性同士のネットワークを作ったり、女性のアイデアそしてニーズを吸収できるクラブに出来ればと考えております。是非、素敵な女性会員をもっと増やしていきたいなと思っております。これで挨拶といたします。

❖ 幹事報告



柳井 渉 幹事

- 1) 10月25日茅ヶ崎にて地区大会が開催され石崎ガバナー補佐はじめ15名で参加をいたしました。
- 2) 地区大会において当クラブが米山記念奨学会より累計4000万円達成の表彰をされました。
- 3) 次週11月3日は祝日より休会となります。
- 4) 第5回理事会が11月10日に開催されます。
- 5) 齋藤年度でRI会長賞を受賞しました。
- 6) 11月のロータリーレートは10月と同じで120円です。

❖ 前年度RA会長賞の授与



❖ 出席報告

太田 忠 委員長

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
10月27日	46(42)	32	3	83.33%
10月20日	46(44)	39	1	90.91%
10月13日	46(43)	37	2	90.91%

【欠席者】10名

小嶋 章司、小林 和彦、杉本 博愛、石坂 弘之、一寸木 芳行、菊地 義雄、辻村 彰秀、臼井 真一、仲 徳子、石崎 孝

【今回MU】3名

辻村 彰秀 (10/24 地区大会)
仲 徳子 (10/25 地区大会)
石崎 孝 (10/24 地区大会)

【前回MU】1名増加

石坂 弘之 (10/25 地区大会)

【前々回MU】2名増加

中村 維孝 (10/25 地区大会)
志澤 昌彦 (10/25 地区大会)

❖ 卓話

「米山奨学」



第2780地区 米山奨学米山学友委員会
小野 良太郎 委員長

今日は米山月間ということで米山奨学の話をするために来ました。米山は昨年14億円を突破しました。6年ぶりの快挙です。6年前は名古屋の方が一人で1億円出してくださいましたので、そういう意味で今年の14億円は多くのロータリアンが理解協力してくれた結果だと思っております。また小沢理事長の発信力が高いのでそれも影響しているでしょう。当地区でも19,650円から21,193円に大幅アップしました。日本全体寄付が上がったために順位は6位で変わりませんが、平均よりも多い上位につけています。米山は63年続いており、皆さまの協力で更なる発展を目指しています。米山事業は1952年、当時東京RCの会長だった古沢文作さんが米山構想として発表したのが始まりです。当時はまだ戦後の貧しい時代で大卒初任給が8~9千円という時に、270万円集めたと聞いています。1954年にタイからソムチャードさんが来日をして始まりました。米山梅吉翁に対する賛同が多く、1957年には全国多地区合同事業となつて、そこから支援する学生を増やしていきました。米山最大の特徴は血の通った交流です。世話クラブとカウンセラー制度は1971年にできました。最盛期の1998年には21億円の寄付が集まり1,100人を支援しました。しかしロータリアンの減少に伴って少しずつ減っていき、3~4年前には700人まで減少しています。ただ最近また寄付が増えてきていますので725人、そして今年は735人支援することが決まっています。2012年には公益財団法人となり、これからも支援する学生を増やしていける事業だと思っています。米山の最大の特徴は世話クラブ・カウンセラー制度です。金銭的援助だけでなく、ロータリアンと触れ合うことでロータリー精神を学んでもらって、最終的に世界と日本を繋ぐ架け橋となる人材を育てる、ということが重要なポイントです。学生は月1回の例会と、色々な事業に参加することでロータリアンと交流を深めてロータリーの精神を学びます。累計18,648人の奨学生を今まで支援してきました。当地区の2015年度の割合は中国28、韓国33、残りがその他の国々となります。元々中国が多かったのですが、当地区の方針として多様な国から奨学生を支援することが目標となっていますので、多くの国から来てもらっています。当地区は大学が多いという点で恵まれていて、他地区では学生が中国出身者しかいないという所もあります。日本全体の累計では中国33%となっています。やはり一國に集中しているので色々な批判が出たようで、少しずつ減らす努力をしているそうです。経済的な理由で学生を選べないかという意見もありますが、『世界の架け橋となる、母国と日本を繋ぐリーダーとなる人材を育て支援する』というのが米山の理念です。経済的なことだけでなく、その理念に統一されています。学業が優秀か、異文化理解があるか、コミュニケーション能力があるか、ロータリーに対する理解度があるか、研究がどの程度有用か、などが選考の基準になっています。米山で育った優秀な学生たちは母国で色々な方面で活躍しています。昨年卒業したエコングくんは学長賞を獲りました。ナイジェリアに帰って政治家になり、国を良くしていきたいと言っています。そういった優秀な学生がたくさんいます。奨学金の詳細内容は豆辞典に載っていますのでご覧ください。米山奨学生は終わった後、そのまま学友になります。

小沢さんは『ロータリーの宝』とおっしゃっています。台湾、韓国、中国、タイ、ネパール、最近モンゴルにも学友会ができました。日本国内にも31の学友会があり、奨学生の世話や様々な活躍をしてくれています。今まで日本独自の会だったのですが、昨年RI理事会で米山の学友はロータリーの学友として認められました。米山学友の活躍の一例です。中国の姫軍さんは20人以上所属する弁護士事務所を経営し、日中問題が悪化した時に現地の日本人のためにホットラインを作ってくれました。まさに米山が言う『日本と母国の架け橋』となってくれたのです。また、台湾の徐さんは苦学生でしたが、今では台湾最大の流通業で大活躍されています。台湾学友会は台湾へ留学してくる学生に対して、同じように奨学金を出してくれています。モンゴル初代学友会会長のガルバドラッハさんはモンゴルで初めて3年制の学校を作りました。今では小学校や大学も併設しているそうです。こういった海外の学友がロータリーに対する感謝の思いを込めて活動してくださっています。来年のソウル国際大会の時に米山ナイトを初めて開催いたします。多くの学友や奨学生を集めて、日本が誇る米山制度を世界へアピールしたいと考えています。分科会も初めてできましたので是非参加してみてください。2780地区のブースの近くに米山のブースも開く予定ですので、そちらにもお立ち寄りお願いします。



今月は米山月間ということで、奨学生がやる卓話、私のように地区委員がやる卓話と、色々な機会を通じて米山への理解を深めてもらおうと活動しています。先日アフガニスタンから来ている学生が小田原RCで卓話をして、全く喋れなかった日本語がたどたどしいながら30分間卓話ができるまでになっていました。そういった姿を見て少しでも米山への理解を深めてもらいたいと願っています。『血の通った交流』はクラブ例会や地区委員会での企画から始まります。4月にまず確約事項を確認してスタート。そこで初めて奨学生となりカウンセラーと顔合わせをしてロータリアンと交流を持ちます。7月にはクリーンキャンペーンでゴミ拾いをして、パーベキューで親睦を深めます。奨学生同士や学友との交流も異文化を理解する上で重要です。米山奨学セミナーも開催しています。9月には一泊研修旅行があり、日本文化に触れて米山梅吉について学んでもらっています。11月21日に高座渋谷で国際交流会があります。奨学生たちが母国の料理を感謝の気持ちを込めてふるまってくれます。朝早くから一所懸命調理しますので是非ご参加ください。1月は選考面接があります。2月は米山奨学生として最後の期間となります。ガバナーから感謝状をもらい、一人一人が感謝の気持ちを述べて奨学生に区切りをつけ、学友となっていきます。そしてロータリーの宝として母国で、日本で、様々な形で活躍していきます。これからロータリーの宝がもっと増えていくことによって、ロータリーが目指す世界平和に寄与することは確実だと思っています。優秀な学生が多いので、人数よりも強い影響力があります。更に支援する学生を増やしていくことが重要になるでしょう。米山制度は皆さんの寄付で成り立っています。それをご理解していただいて、これからもご協力よろしくお願ひいたします。

